

6 アスリートが活躍できる環境の整備

1 概要

開催都市である東京の選手が一人でも多く日本代表選手として活躍できるよう、アスリートの発掘・育成・強化など、競技力の向上に向けた取組を実施するとともにアスリートへの各種サポートを行うなど、アスリートが活躍できる環境の整備を推進する。

2 レガシーの概要

東京都が発掘・育成・強化したアスリートが東京 2020 大会をはじめとする国際大会等で活躍する。

こうしたアスリートが世界を相手に活躍する姿は、東京を愛する都民としての意識を醸成するとともに、次代を担う子供たちにスポーツへの夢を与え、スポーツに取り組むきっかけとなることにより、スポーツの裾野の拡大につながる。さらに、アスリートをみんなで応援することは、アスリートの力になり、更なる活躍につながるだけでなく、応援を通じて人々が結び付き、地域に活力がもたらされる。

また、アスリートや指導者、企業への情報提供等を通じてアスリートの雇用をサポートすることで、競技活動に打ち込める環境が創出される。

利害関係者	競技団体、大学、スポーツ関係団体 等
種別	スポーツ・健康
地理的範囲	東京都
期間	長期
実施主体	東京都
根拠	立候補ファイル、2020 年に向けた実行プラン、「未来の東京」戦略
関連する SDGs	5-ジェンダー、17-実施手段

3 詳細な説明

(1) 背景

都は東京 2020 大会招致決定前から、次世代のアスリートとなるジュニア層に対し、多彩な才能の発掘・育成や競技力向上の推進に取り組み、国体等の全国大会で活躍する選手や国際大会に出場する選手を輩出してきた。

東京 2020 大会の開催を見据え、多くの選手が国際大会で活躍できるよう

競技力の向上に向けた取組を更に強化する必要がある。

また、トップアスリートの育成・強化にあたっては、アスリートが生活に不安なく競技活動に集中できる環境づくりが必要である。

(2) 時期

2014年度	日本代表候補選手が海外合宿等に派遣する際の強化費の支援を開始
2015年度	アスリートのキャリア形成への支援を開始
2016年度	東京アスリート認定制度を創設
2019年度	スポーツ・インテグリティ*を確保するため、指導者や競技団体向けの研修を開始

(3) 実施主体

東京都

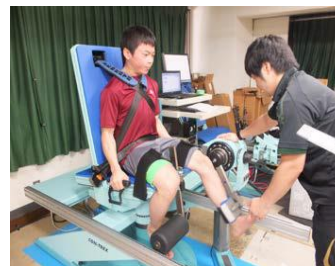
(4) 実施方法

- 将来有望な選手や、才能ある中学生を発掘・育成・強化する取組を進め、東京 2020 大会などの国際的な大会で活躍するアスリートを数多く輩出する。
- オリンピックなどへの出場が期待される東京の選手を「東京アスリート認定選手」に認定し、活動を支援するとともに、認定選手としての自覚を促すため、コンプライアンスやアンチ・ドーピング*等の研修を行う。
- クリーンでフェアなスポーツの推進に向け、指導者及び競技団体向けにアンチ・ドーピング等の研修を実施し、スポーツ・インテグリティを確保する。
- トップアスリートの育成実績のある国際的なトップコーチを海外等から招へいし、指導者の資質向上を図る。
- 大学等と連携し、データに基づく選手へのフィードバックや助言を行うなど、スポーツ医・科学に立脚した各種サポート等を実施する。
- アスリートや企業に対して、情報提供や意識啓発を通じてアスリートの雇用をサポートし、競

<東京アスリート認定選手認定式> [1]



<スポーツ医・科学に基づくサポート> [2]



[1] 都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020年に向けた実行プラン～（東京都）

[2] 「未来の東京」戦略ビジョン（東京都）

技活動に打ち込める環境を整える。

- 女性アスリート特有の競技・健康上の課題に関して、アスリート及び指導者等への正しい理解を促進する。
- 東京国際ユース（U-14）サッカー大会、ジュニアスポーツアジア交流大会などを通じて、国際交流の機会を創出する。

（５）便益

以下の効果等により、アスリートの競技力が向上し、東京 2020 大会をはじめとする国際大会等における活躍が見込まれる。こうした姿は、次代を担う子供たちに夢を与え、スポーツの裾野の拡大等が期待される。

また、アスリートが就職することにより、競技に集中できる環境が創出される。

- 都が発掘・育成・強化したアスリートが東京 2020 オリンピック競技大会に出場する。
- トップアスリート発掘・育成事業の修了者が国際大会等で活躍する。
- オリンピック競技や国体競技の各種競技を強化する。
- 東京アスリート認定選手が国際大会等で活躍する。
- クリーンでフェアなスポーツが推進されている。
- 国際的トップコーチ招へいにより、指導者の資質が向上する。
- アスリートが都の支援により就職する。

4 事実と数字

都が発掘・育成・強化したアスリート数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定選手 延べ 1,034 人への強化支援 ・ ジュニア選手の発掘・育成・強化 延べ 254 人 ・ 国体において、男女総合、女子総合ともに第 2 位となり、近年の国体では上位の成績を堅持 ・ グローバル指導者育成事業 延べ 19 競技団体に実施し、指導者を育成
ジュニア選手の発掘・育成	ジュニア選手の発掘・育成 修了者 254 人（～11 期生）
競技力向上（オリンピック競技、国体競技の強化）	競技力向上 オリンピック 31 競技、国体競技 41 競技の強化
東京アスリート認定	東京アスリート認定選手 延べ 1,034 名を認定し、強化費等を支援
スポーツ・インテグ	指導者向け研修 2 回実施

リティの推進	競技団体向け研修 1 回実施
国際的トップコーチ招へい	国際的トップコーチ招へい 延べ 19 競技団体
アスリートサポートによるアスリートの就職	アスリートサポートにより就職したアスリート数 延べ 116 人

(2021 年 3 月までの実績)

5 用語説明

スポーツ・インテグリティ	スポーツにおける誠実性・健全性・高潔性のこと。ドーピングや八百長、違法賭博、暴力、ハラスメント、差別、団体ガバナンスの欠如等の不正がない状態を指す
アンチ・ドーピング	ドーピング行為に反対し、スポーツがスポーツとして成り立つための、教育・啓発や検査といった様々な活動のこと

6 参考文献

- ・ 2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－（PR 版）
- ・ 2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－（本編）
- ・ 都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～
- ・ 「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化（平成 30 年度）
- ・ 「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化（2019 年度）
- ・ 「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化（2020 年度）
- ・ 「未来の東京」戦略
- ・ 東京都スポーツ推進総合計画